

## 1 新野左馬助公墓所

新野親矩公は、今川氏の一族で、遠江国新野の領主、左馬助と称した。永禄7年(1564)、今川氏真に背いた引馬城主飯尾連龍を攻めたとき戦死した。親矩公の妹は、井伊直盛の妻となっている。

永禄5年(1562)、井伊直親が氏真に謀反の疑いをかけられ殺されたとき、親矩公とその妻が直親の遺児虎松(後の徳川四天王の一人井伊直政)をかくまい、養育したことは有名である。



新野バス停より徒歩10分

## 5 養寿丸と高野長英

塩の道、塩買坂の中ほどの茶店にみすばらしい一人の旅人が、喘ぎながらたどり着いた。親切な主人夫婦は、この旅人を幾日も看病し、やっとのことで回復した旅人は、そのお礼に薬の処方箋をしたため立ち去った。

この処方に基づいて作った薬を、病に苦しむ人たちに分け与えたところ、長年苦しんでいた病気もたちまち快復することができた。その薬効が近隣に知れ渡り、遠くから訪ねて来る人が後を絶えなかったという。明治になって売薬の許可をとって、家伝薬「養寿丸」と名付けて全国各地に販売した。

この処方箋を残した旅人こそ、幕末の蘭学者として有名な高野長英であったと伝えられている。



## 9 釜原城

この城は、菊川市高橋佐栗谷から新野の中尾・山田ヶ谷にまたがる丘陵部に築かれている。小規模な縦に長い曲輪の配置をしており、天然の急峻な崖をうまく利用して守りを固めている。

城の周辺には、トンノヤ、ホンジノヤなどの古地名や五輪塔などが残り、根小屋を形成していたものと思われる。



## 6 塩買坂 武田の陣場跡

元亀2年(1571)、武田信玄は高天神城をうかがい、塩買坂に陣を張り、また、天正2年(1574)には、武田勝頼もまた高天神に向かって出兵し、塩買坂に布陣したという。

相良からの旧信州街道は、新野原からもとの正林寺坂(旧坂)に下る。この坂を古くは、塩買坂(性海坂)と呼んだ。この坂からは、眺望絶景で小笠平野を通し、高天神城が指呼の間にあり、立地条件から戦略上最適の占地といえよう。



## 7 医者墓様

医者墓様は、本間謙斎を祭る御堂である。謙斎は金沢の人で、医者を志し修業の途上、病に倒れた。新野村の医師松下良伯貞国は、その不遇をあわれみ、家を与え治療に努めたがその効果も無く没した。万延2年(1861)6月20日のことであった。靈験あらたかのため、20日の縁日には多くの善男善女でにぎわったという。



## 4 新野水のめぐみ公園

古刹想慈院と篠ヶ谷調整池の間の谷部分に作られた公園で、上部はビオトープ、下部はグラウンドゴルフ場となっている。

なお、想慈院周辺では、5月から6月にかけて、ゲンジボタルを見ることができる。



## 8 天ヶ谷の城平

この城は、牧ノ原台地が菊川市高橋・新野天ヶ谷地区に張り出した尾根上に位置する。このため、城域の半分は、菊川市にある。

南北二つの曲輪で構成され、北の曲輪には土壘が良好に保存され、堀切や横堀を見ることができる。南の曲輪は、虎口や堀切が確認できる。



## 13 あらさわふる里公園

園内には農産物直売店や、味の体験館「味工房わらび」、炭焼き施設、バーベキュー広場などが設けられている。中でも「夢咲牛」地元野菜のBBQは大人気!

●お問い合わせ先 TEL : (0537)85-8230  
●住 所 : 静岡県御前崎市下朝比奈 158-7  
●定休日 : 木曜日(年末・年始休業)



## 14 道の駅 風のマルシェ御前崎

新鮮でおいしい野菜や果物が並ぶ農産物直売所のほか、体験農園や御前崎ならではのメニューを用意したレストランなどがあり、食材の宝庫と呼ばれる御前崎の味を堪能しよう。

●お問い合わせ先 TEL : (0537)85-1177  
●住 所 : 静岡県御前崎市合戸 4384-1  
●定休日 : 年中無休(但し年末年始を除く)



## 15 観光案内所 よってかまい

新野の観光案内のほか、地場産品や左馬助公グッズの販売を行っている。

また駄菓子やお土産、生活雑貨も販売しており、地元住民のみなさんの集いの場にもなっている。

●お問い合わせ先 TEL : (0537)86-7517  
●住 所 : 静岡県御前崎市新野 963



### お問い合わせ先

■御前崎市役所 商工観光課  
静岡県御前崎市池新田5585  
TEL : (0537) 85-1135  
E-mail : shokan@city.omaezaki.shizuoka.jp

### ■新野公民館

静岡県御前崎市新野789-1  
TEL : (0537) 86-2024